

学校・地域教育研究支援センター へき地教育研究支援部門 へき地・複式教育の映像資料

複式学級の授業を見たことのない学生は、1人の教師が異なる学年に異なる教材を同時に教える風景を容易に想像できません。できたとしても「先生がついてない学年は、プリントで自習するのだろう」と思うでしょう。ここに複式教育への誤解が生まれます。実際には「先生がついてない」ときの学習こそ、子どもたちが自力で学習課題に取り組み、かつ級友と意見を交流しあって学び育つ場なのです。

複式学級で学ぶ子どもたちの姿と教師の働きを、リアルに学生に伝えるにはどうしたらよいか、ヒントは島根県立浜田教育センター制作のビデオテープにありました。

指導主事の方々が複式の授業を撮影・編集した手づくりの映像ですが、ワタリ・ズラシの解説は、参考文献や学習指導案などの活字資料にまさるものでした。

編集機器の進歩している今日、複式の授業を撮影・編集すれば、学校へ出向かなくてもDVDで授業を参観することができるのです。幸い、平成17年度から20年度まで「へき地・小規模校教育プログラムの開発」が特色GP^(注)事業として採択されたので、既刊『複式学級における学習指導の在り方（北海道立教育研究所・北海道教育大学の共編著 平成13年9月／平成15年3月）』映像化に取り組み、あわせてへき地校の子どもたちの様々な活動、へき地教育実習の実際、フォーラムの記録などをDVDとして制作することができました。

本冊子は、特色GP報告書から転載したもので、DVDとともに活用できるようにしました。

(注) 文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」

複式学級における学習指導シリーズ (特色GP事業による制作年順)

No. 1 低学年の学年別指導 算数 その1 (26分)

今金町立種川小学校(完全複式3学級)の、低学年学級における算数の授業です。1年「ひきざん／追い越しゲームをしよう」、2年「長さをはかろう」。机の配置は、黒板に向かって並列しています。平成18年2月撮影



No. 2 高学年の学年別指導 算数 その1 (26分)

浜頓別町立頓別小学校(完全複式3学級)の、高学年学級における算数の授業です。5年「四角形」、6年「立体」。机の配置は、黒板に向かって並列しています。平成18年6月撮影



No. 3 中学年の学年別指導 国語 その1 (31分)

岩見沢市立メープル小学校(完全複式3学級)、中学年国語の学年別指導の授業です。3年「わすれられないおくりもの」、4年「一つの花」。机の配置は、背中合わせです。

間接指導において「一人タイム／みんなタイム」を設け、自ら解決する力、友だちと交流して解決する力をつけています。また、複式学級の特徴を活かした「ふり返り」は、他学年に今日の学習内容を伝えることによって豊かな表現力を身につけることをめざしています。

平成18年9月撮影



No. 4 低学年の学年別指導 算数 その2 (37分)

今金町立種川小学校（完全複式3学級），低学年（1年生4名／2年生3名）算数の学年別指導の授業です。両学年とも教材は図形で，1年生の「かたちあそび」は積み木などで「まる／さんかく」を，2年生の「形に名前をつけよう」は，辺に着目して「三角形/四角形」の定義を理解し，複式学級の特性を活かした「ふり返り」を行っています。低学年の複式学級のわたり・ずらしの難しさと先生の工夫がよく表れています。平成18年11月撮影



No. 5 高学年の学年別指導 算数 その2 (30分)

幕別町立駒島小学校（複式3学級），高学年（5年生1名／6年生3名），算数の学年別指導の授業で，単元は，5年「小数のかけ算」／6年「分数のかけ算」です。5年生が1人学年なので，授業者は「課題解決」の段階でもう一人の児童役になって，異なる考えと交流できるようにしています。6年生は，「課題追究（自力解決）」はもとより，「課題解決（交流）」を自主的に進めるまでに成長しています。平成19年7月撮影



No. 6 高学年の学年別指導 算数 その3 (25分)

士幌町立佐倉小学校（複式3学級），高学年（5年生5名／6年生3名），算数の学年別指導の授業です。単元は，5年「小数のわり算」／6年「分数のわり算」。5年生の学習過程（前時のふりかえる：間接指導／つかむ：直接指導／しらべる：間接指導／まとめる：直接指導）を中心に編集しました。間接指導において一人学習の成果を互いに交流し，よりよい方法を考えようとする子どもたちに注目してください。平成19年10月撮影



No. 7 高学年の同単元同内容指導 国語 (33分)

幕別町立駒島小学校（複式3学級），高学年（5年生1名／6年生3名），国語の同単元同内容指導の授業，単元は5年「森を育てる炭作り」です。本時の「学習過程」は，学年別指導と同じく4段階（課題把握／課題追究／課題解決／習熟・応用）で構成し，特に課題追究を「一人調べ・一人学習」として重視しています。本シリーズ「高学年その3：算数」と合わせて視聴して下さい。巻末に授業者へのインタビューと学習発表会の「朗読」を収録しています。平成19年10月撮影



No. 8 低学年の学年別指導 算数 その3 (61分)

士幌町立佐倉小学校（複式3学級），低学年（1年生2名／2年生2名），算数の学年別指導の授業です。単元は，1年「たしざん」／2年「ひっさんのしかたをかながえよう」。授業者は，子どもたちが図やブロック，数カードを使って計算の仕方を考え，説明できる学習をめざしています。低学年の子どもたちの算数的活動と表現活動，なかでも2年生2名が間接指導時にお互いの考えを交流する様子に注目してください。平成20年10月22・23日撮影



No. 9 中学年の学年別指導 算数 その1 (31分)

幕別町立駒島小学校，中学年（3年生3名／4年生1名），算数の学年別指導の授業です。3年単元「かけ算の筆算(1)」 本時の目標は3位数×1位数（部分積がみな1けた）の筆算の仕方を理解する／4年単元「わり算の筆算(2)」 本時の目標は除法について成り立つ性質を理解する，除法の性質を用いて工夫して計算することができる。授業者は本シリーズNo. 6と同じ先生で，中学年においても，1人学年の学習にさまざまな工夫をしているところに注目してください。平成20年11月7日撮影



*島根県立浜田教育センター制作・著作(注1)

シリーズ複式学級の指導／複式算数科学習指導法／VHS25分／平成4年3月制作

シリーズ複式学級の指導／複式国語科学習指導法／VHS25分／平成5年3月制作

シリーズ複式学級の指導／複式生活科学習指導法／VHS27分／平成6年3月制作

少人数学級の人間関係づくり～構成的グループ・エンカウンターの実践を通して～／VHS21分／平成13年3月制作

(注1) へき地教育研究施設(へき研部門の旧名)は、平成15年度、教育改善推進費によるプロジェクト「へき地・複式教育における教員研修の関する調査」を行いました。全国の教育センター等へのアンケートを実施した際、浜田教育センターから映像資料の寄贈を受けました。複式の授業を分かりやすく解説しているため、へき地教育実習の指導や現職教員の研修講座で評判が高く、これに触発されて特色GP事業では「複式学級における学習指導シリーズ」を制作しました。

*長崎大学教育学部制作・著作(注2)

国語科書写授業 中学年複式 学年別指導 教材は、3年：力／4年：左右(24分)

釧路町立昆布森小学校 平成20年8月28日撮影

国語科書写授業 低学年複式 類似教材指導

単元は、1年：漢字の学習「書く途中の書き方」／2年：漢字の学習「画の方向」

千葉県香取市立小見川小学校利北分校 平成20年10月30日撮影

国語科書写授業 中学年複式 合同教材指導 単元は、3年／4年：筆順と字形「左右」

千葉県香取市立小見川小学校利北分校 平成20年10月30日撮影

(注2) 平成20年8月、長崎大学教育学部の鈴木慶子先生他2名が北海道のへき地・複式教育の調査を行った際昆布森小学校で書写の学年別指導を記録したものです。千葉県で撮影した複式の授業についても、寄贈を受けました。

小さな学校の子どもたちシリーズ

へき地校の子どもたち ～冬を楽しむ～(35分)

今金町立種川小学校の子どもたちは、冬でも元気いっぱい。低学年は、お楽しみ会でチョコパフェを作りました。スキー場は校舎の裏山、歩いて5分、見事なすべりを見せてくれました。下の句かるた(木札の百人一首)の練習も熱気に満ちあふれ、全道大会では大活躍しました。平成18年2月21・22日撮影



へき地校の子どもたち ～鼓笛隊・相撲・計算塾～(26分)

先輩が後輩を指導する鼓笛隊の練習、まわしを着けた相撲の稽古、雄叫びのこだまする計算塾、目一杯からだを使って学ぶ浜頓別町立頓別小学校の子どもたちです。平成18年6月撮影



さいごの卒業式・修了式 ～敏音知小学校～(66分)

中頓別町立敏音知(びんねしり)小学校は、平成18年3月をもって閉校し、在校生は、中頓別小学校へ通学することになりました。最後の卒業式・修了式には、実習生たちも参列しました。平成18年8月22日撮影



小さな学校の卒業式 ～思い出を胸に～ (55分)

今金町立種川小学校の卒業生は2人。校長先生は、卒業する2人と在校生たち一人ひとりが「あの日、あの時」に紡いだ思い出をお話下さいました。小さな学校には、心に残る思い出がぎっしり詰まっています。平成19年3月撮影



小さな学校の学習発表会 (60分)

全校児童11名の学習発表会は、合奏、合唱、劇「かさこじぞう2007」、どれもフルキャストで出演します。今年のスターは2年生3人、地蔵レンジャーのアクションにご注目を。保育所のちびっ子はお遊戯で大活躍、かあさん、とうさん達もダンス(?)で見事な演技。朗読「花さき山」は、高学年が日ごろの学習成果を発揮して大きな感動を与えました。幕別町立駒島小学校 平成19年11月撮影



先生、大好き！なかよし学級 (23分)

土幌町立佐倉小学校の中学年は、3年生女子4名/4年生女子4名、先生も女性。教室の中はどっちを見ても女子ばかりですが、個性的なキャラクターがそろっています。同内容指導の国語、学年別指導の算数、低学年との合同体育、全校音楽、地元の特産を活かした総合的な学習の時間など、授業のときはもちろん課外活動にも元気に活躍しています。平成20年10月7～9日撮影



Heart of the Country ～心をはぐくむ～ (VHS 90分)

この映像は、アラスカ大学が、日本のへき地教育の特色をさぐるために、南富良野町立金山小学校の教育実践を記録したものです。学校長をはじめ、教職員、保護者、教育長、住民へのインタビューで構成。安友進市校長は、「小さな学校で大きな教育を/大きな教育とは、子ども一人ひとりに愛情をそそいで一人ひとりを伸ばすこと、一人ひとりの可能性を活かして実現してあげること/心一つになった学校は、笑顔が輝き、親切があふれ、思いやりがしみとおっていく」と語っています。



本学は1989(平成元)年、アラスカ大学フェアバンクス校と国際交流協定を締結し、1993年度から3年間にわたって国際学術研究「環太平洋北部地域のへき地教育に関する比較研究」を行いました。この映像の制作には、当時の谷本一之学長をはじめ、山下克彦教授ほか多数の教職員が協力しています。制作・著作 L. カマリング/W.パレット 1998(平成10)年

たった一人の卒業式 夕張市立滝の上小学校 (90分)

平成19年度の実習生が撮影しました。卒業生は一人でも、第1部回想、第2部歓び、第3部巣立ちのとき、という感動的な構成です。撮影平成20年3月19日 実習生が撮影



へき地教育実習シリーズ

へき地教育実習の記録 ～ピンネ、大好き！～ (7分)

中頓別町立敏音知小学校は、平成10年から17年まで、へき地教育実習の学生を受入れましたが、18年3月をもって閉校しました。実習生が撮ったビデオテープから、8年間の軌跡をまとめました。



へき地教育実習 ～「たきテレ情報局」発～ (17分)

「たきテレ」は、旧大滝村（平成18年3月伊達市と合併）にあるケーブルテレビ局です。大滝小学校におけるへき地教育実習のようすを、密着取材してくださいました。感謝！平成17年8月30日放映。



へき地教育実習 ～研究授業と児童とのお別れ～ (23分)

標茶町立沼幌（ぬまほろ）小学校における、へき地教育実習のようすです。沼幌小学校は完全複式の3学級で、低学年の国語と、高学年の算数の研究授業を行いました。机の配置は、背中合わせにしています。平成17年11月撮影



へき地教育実習の記録 ～実習生の日々～ (31分)

今金町立種川小学校における、へき地・小規模校教育実習を密着取材しました。対面式～観察参加と教壇実習～国際交流の集い～水泳教室～模擬授業～特設授業～離任式まで、実習生たちの汗と笑顔、そして涙の物語です。平成18年8月撮影



1980年度の岩見沢校「へき地・複式教育」の記録

岩見沢校は、1978年度から「へき地教育」、「複式教育」を教職専門科目（選択必修）として、開講しました。当初の実習地は幌加内町7校（3泊4日）でしたが、1980年度から積丹町4校が加わりました。この映像は、積丹町立余別小学校における記録です。撮影中村岩美、編集笹嶋勇次郎他

1989年度の岩見沢校「へき地・複式教育」の記録 (22分)

この映像は、積丹町立幌武意小学校における実習を、HTB放送局が取材して、「私、先生になります！教育実習生どきどき物語」として放送したものです。1989年9月26日／HBC「ほっとないと HOKKAIDO」

2004年度の岩見沢校「へき地教育実習・小規模校教育実習」の記録

旧大滝村（平成18年3月伊達市と合併）の大滝小学校における実習を、ケーブルテレビ局が取材し、「滝小教育実習生紹介」、「教育実習生お別れ会」として放映しました。2004年8月24日・9月3日放送

和歌山大学教育学部のへき地教育実習

この映像は、2002年度からへき地教育実習を行っている和歌山大学教育学部の実習を紹介するニュースです。ワークショップにお招きした豊田充崇先生が寄贈して下さいました。2006年2月28日放送 NHK／2006年3月20日放送 わかやまテレビ／2003年度 NHK／2002年度

ワークショップ・フォーラムシリーズ

特色 GP ワークショップ 2006 ～小さな学校、大きな感動～ 午前の報告 (102分)

学生ワークショップ「小さな学校、大きな感動」を開催し、へき地教育実習での体験と学びを交流しました。報告者は、札幌校4年後藤さん、釧路校3年早弓さん・加賀さん、岩見沢校の粕山さん・峯田さん・渡邊さんです。平成18年3月6日：於 岩見沢校



特色 GP ワークショップ 2006 ～小さな学校、大きな感動～ 午後の報告 (70分)

学生ワークショップ「小さな学校、大きな感動」を開催し、へき地教育実習での体験と学びを交流しました。受入れ側からの報告は、歌登町教育委員会の渡部恒久さんと、厚真町立軽舞小学校長の荒木玲子先生にお願いしました。平成18年3月6日：於 岩見沢校



特色 GP ワークショップ 2007 ～小さな学校、大きな感動 第1部 実習生の報告～ (96分)

平成19年3月3日、学生ワークショップを開催し、へき地教育実習での体験と学びを交流しました。報告は、札幌校4人、旭川校3人、釧路校5人、岩見沢校2人の実習生です。於 岩見沢校



特色 GP ワークショップ 2007 ～小さな学校、大きな感動 第2部 実習校の報告と意見交流～ (90分)

平成19年3月3日、学生ワークショップを開催し、へき地教育実習での体験と学びを交流しました。受入れ側からの報告は、士別市立中士別小学校の宮下敏校長先生です。於 岩見沢校



特色 GP ワークショップ 2007 ～小さな学校、大きな感動 第3部 和歌山大学教育学部のへき地教育実習～ (63分)

平成19年3月3日、学生ワークショップにおいて、和歌山大学教育学部の豊田充崇先生（附属教育実践総合センター助教授）から、同学部のへき地複式教育実習について報告していただきました。同学部では、平成14年度からへき地複式教育実習に取り組んでいます。於 岩見沢校



特色 GP フォーラム 2008 へき地教育を担う大学サミット「へき地教育と教師教育」 第1部前編 (64分)

平成19年12月1日、特色 GP フォーラムを開催しました。本間学長の挨拶に続き、第1部前半は、琉球大学教育学部の山口剛史准教授による「琉球大学におけるへき地教育の取り組み」、鹿児島大学教育学部の八田明夫教授による「鹿児島大学におけるへき地教育に対応した教員養成の現状と問題点」の報告がありました。於 札幌 センチュリーロイヤルホテル



特色 GP フォーラム 2008 へき地教育を担う大学サミット「へき地教育と教師教育」 第1部後編/サプライズ (73分)

第1部後半は、長崎大学教育学部の村田義幸教授による「長崎大学におけるへき地教育の取り組み」、和歌山大学教育学部豊田充崇准教授による「和歌山大学におけるへき地複式教育実習」の報告がありました。また、本学との国際交流で来日されたザンビア国立大学のムサンゴ教授から、ザンビアの複式教育の現状に関する報告をいただきました。



特色 GP フォーラム 2008 へき地教育を担う大学サミット「へき地教育と教師教育」 第2部 (78分)

第2部は、本学の「へき地教育の取り組み」について、川前あゆみ講師と幸村敏晴特任講師による報告があり、引き続き幕別町立途別小学校狩野信也校長と士別市立中士別小学校宮下敏校長が、実践の場からの提言をしていただきました。



特色 GP フォーラム 2008 へき地教育を担う大学サミット「へき地教育と教師教育」 第3部 (85分)

第3部の総合討論では、へき地教育実習のあり方、附属学校における複式学級の問題点、大学と実践現場の連携など多岐にわたる課題が明らかになりました。今後、本学と琉球・鹿児島・長崎・和歌山の4大学は、へき地・複式教育の実践的カリキュラムなどの共通課題について、いっそうの研究交流を深めていくことを確認しました。



'08 へき地・複式教育ワークショップ in 釧路校 前編 (62分)

「授業の組み立てと教材研究」～わたり・ずらしを考える～ 前編

講師 音更町立木野東小学校 江口秀和 教諭

日時：2008年1月12日（土） 会場：北海道教育大学 釧路校

主催：北海道教育大学 へき地教育研究センター



'08 へき地・複式教育ワークショップ in 釧路校 後編 (82分)

「授業の組み立てと教材研究」～わたり・ずらしを考える～ 後編

講師 音更町立木野東小学校 江口秀和 教諭

日時：2008年1月12日（土） 会場：北海道教育大学 釧路校

主催：北海道教育大学 へき地教育研究センター



'09 特色 GP 「へき地教育フォーラム in 十勝」第1部 -1 (45分)

第I部 複式学級がはぐくむ自ら学ぶ力 公開授業/算数・複式

平成20年11月7～8日、特色 GP 「へき地教育フォーラム in 十勝」を開催しました。

第1部は幕別町立駒島小学校を会場に、同校 佐藤圭司教諭による複式授業（3年生3名/かけ算の筆算、4年生1名/わり算の筆算）を公開しました。



'09 特色 GP 「へき地教育フォーラム in 十勝」 第1部 -2 (60分)

第I部 複式学級がはぐくむ自ら学ぶ力 トークセッション

公開授業の後、佐藤圭司教諭と北海道教育大学釧路校杉山佳彦教授によるトークセッションとフロアからの意見も交え、複式指導の難しさを克服し、児童の経験を重視する授業展開について意見を交換しました。



'09 特色 GP 「へき地教育フォーラム in 十勝」 第2部 -1 (67分)

第II部 シンポジウム(1) へき地校から発信する算数科教育 No. 1

会場を幕別町内のホテルに移して、開会式を行い、眞田雄三理事の主催者挨拶、矢花司十勝教育局長の来賓挨拶についてシンポジウム(1)を行いました。北海道教育大学釧路校 辻宏子准教授の司会のもとに、士幌町立佐倉小学校 大場慎也教諭、音更町立木野東小学校 江口秀和教諭が実践をふまえた発表がありました。於 十勝幕別温泉グランヴィリオホテル



'09 特色 GP 「へき地教育フォーラム in 十勝」 第2部 -2 (82分)

第II部 シンポジウム(1) へき地校から発信する算数科教育 No. 2

ひきつづき、長崎大学教育学部 平岡賢治教授、北海道教育大学旭川校 久保良宏教授からの提言があり、会場を交えて活発に意見を交換しました。



'09 特色 GP 「へき地教育フォーラム in 十勝」 第3部 (84分)

第III部 講演「今、算数・数学教育に何が求められているか」

筑波大学大学院人間総合科学研究科 清水静海准教授による講演は、学習指導要領の改訂を中心に、思考力、判断力、表現力などを育むための学習活動を中心に、問題解決型の授業に向けた提言がありました。



'09 特色 GP 「へき地教育フォーラム in 十勝」 第4部 -1 (74分)

第IV部 シンポジウム(2) 教育の原点を学ぶへき地校体験実習 No. 1

「へき地校体験実習」について、本学札幌校前田賢次准教授による概要説明につづき、受講学生諸君による体験発表がありました。札幌校2年生有賀有子さん、中村友紀さん／釧路校3年生宍戸暢宏さん、矢野一平さん／旭川校4年生加藤美春さん／司会進行は、本学釧路校境智洋准教授



'09 特色 GP 「へき地教育フォーラム in 十勝」 第4部 -2 (100分)

第IV部 シンポジウム(2) 教育の原点を学ぶへき地校体験実習 No. 2

へき地教育スーパーバイザーの幸村敏晴先生からの事前指導などの諸課題についての発表と、士幌町立佐倉小学校 玉川弘幸教頭先生、標茶町立磯分内小学校 廣瀬文彦校長先生による実習受入れ校の成果と課題の発表がありました。さらに、長崎大学教育学部 藤木卓教授からは、同学部が現代GPとして取組む離島実習の実際についての発表がありました。



'09 特色 GP 「へき地教育フォーラム in 十勝」 第4部 -3 (31分)

第Ⅳ部 シンポジウム(2) 教育の原点を学ぶへき地校体験実習 No. 3

総括討論～閉会



平成19年度 へき地校体験実習報告会 (80分)

へき地校体験実習は、事後指導として受講学生による報告会を行っています。旭川校の報告会（12月25日）では、受入れ校の中士別小学校の先生たちが参加してくださり、講評をいただきました。札幌校（10月19日）と釧路校（2月8日）の報告お様子もダイジェストで収録しています

平成20年度 へき地校体験実習学生報告会 旭川校 (80分)

旭川校の報告会には、釧路校の川前あゆみ先生も参加しました。平成20年12月16日

平成20年度 へき地校体験実習学生報告会 釧路校

釧路校の報告会には、旭川校のスーパーバイザー幸村敏晴先生も参加しました。平成21年1月9日